

# ご 案 内

## (1) 大会申し込みについて

別紙案内ご覧のうえ、申込用紙にてお申し込みください。

参加申し込み締切 6月4日 (土)

## (2) 大会参加費について

- 大会参加費 (大会要項代含む)・・・4,000円
- \*講演会のみ参加・・・1,000円
- 交流会参加費・・・5,000円

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

参加・交流・昼食・宿泊についてのお問い合わせ

[トラベルウェイ合同会社]

住 所 : 〒903-0801 沖縄県那覇市首里末吉町 3-50-1 (2106)

T E L : 098-988-3677

F A X : 098-988-3716



大会に関するお問い合わせ  
〔沖縄大会事務局〕

大会会長：名護市立東江小学校 校長 堀川 泉  
事務局長：うるま市立兼原小学校 言語学級 教諭 金城 節子  
住 所：〒904-2225 沖縄県うるま市喜屋武66番地  
T E L：098-973-3350  
F A X：098-974-7143



各所属長様  
関係各位

第40回九州地区難聴・言語障害教育研究会  
沖縄大会 会長 堀 越 泉  
(名護市立東江小学校校長)

## 第40回 九州地区難聴・言語障害教育研究会 沖縄大会 (第2次案内)

第40回九州地区難聴・言語障害教育研究会沖縄大会を開催いたします。  
難聴・言語障害教育関係者及び学級担任、保護者や親の会活動に携わっておられる方々、医療・保健福祉関係者等、多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

### 1. 大会主題 「これからの難聴・言語障害教育のあり方を考える」

～子どもや保護者のニーズに応える支援や連携をめざして～

### 2. 大会趣旨

平成25年度には学校教育法施行令が一部改正され、今後の特別支援教育の方向性が具体的に示されました。難聴・言語障害教育の現場では、きこえとことばからくる困難だけでなく多様な課題のある子どもが増加しています。そして、担当者は多岐にわたる教育的ニーズや支援・指導の難しさを感じながら、日々子どもと向き合っているところです。今後はさらに難聴・言語障害教育担当者として個々の専門性を高めるとともに、医療・福祉等の関係機関、保護者や在籍学校・学級との連携をさらに深め、支援・指導にあたることを求められています。

そこで、本大会は、九州地区の難聴・言語障害教育担当者、並びに関係者が一堂に集い、日々の実践報告を通して、これまでの成果や課題についての研究協議を深めることで、子どもや保護者のニーズに応えられる専門性を高めるとともに、より良い連携のあり方を学びたいと考えています。そして、これからの難聴・言語障害教育のあり方、および特別支援教育における難聴・言語障害教育の果たすべき役割について考える機会にしたいと思っております。

### 3. 主 催

九州地区難聴・言語障害教育研究会 沖縄県難聴・言語障害教育研究会

### 4. 後 援

沖縄県教育委員会 福岡県教育委員会 長崎県教育委員会 佐賀県教育委員会  
大分県教育委員会 熊本県教育委員会 宮崎県教育委員会 鹿児島県教育委員会  
那覇市教育委員会 浦添市教育委員会 沖縄市教育委員会 宜野湾市教育委員会  
糸満市教育委員会 うるま市教育委員会 名護市教育委員会 豊見城市教育委員会  
石垣市教育委員会 南風原町教育委員会 本部町教育委員会 嘉手納町教育委員会  
北谷町教育委員会 西原町教育委員会 読谷村教育委員会 北中城村教育委員会  
名護市社会福祉協議会 本部町社会福祉協議会 今帰仁村社会福祉協議会  
沖縄県特別支援教育研究会 沖縄県特別支援学級設置校校長会 沖縄県小中学校校長会  
沖縄県聴覚障害児(者)を持つ親の会 全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会  
公益財団法人日本教育公務員弘済会沖縄支部 特定非営利活動法人全国ことばを育む会 《順不同》

### 5. 期 日 平成28年8月4日(木)～5日(金)

6. 会 場 沖縄県市町村自治会館 (那覇市)  
〒900-0029 那覇市旭町 116-37 TEL 098-862-8181

### 7. 日 程 〈第1日目〉8月4日(木)

12:00~12:50	13:00~14:00	14:10~16:10	16:25~17:25	18:30~20:30
会 員 受 付	開会行事 九難言総会	記念講演	各県代表者会	交流会
			親の会代表者会	

### 〈第2日目〉8月5日(金)

10:00~10:20	10:30~12:30	12:30~13:30	13:30~15:30	15:40~16:00
受 付	分科会 提案1・2	昼 食	〈分科会〉 研究協議 ミニレクチャー	閉会行事
9:30~10:20				
分科会打合せ				

8. 記念講演会

第40回 九州地区難聴・言語障害教育研究会 沖縄大会

記念講演

『多様なニーズへのアプローチ』

～ 特別支援教育の視点から～

講師

特別支援教育士スーパーバイザー ・ 特別支援 (S.E.N.S) の会沖縄支部会代表

大城 政之 先生

〈主な経歴〉

1988年、筑波大学大学院修士課程教育研究科障害教育専攻修了後、沖縄県立八重山養護学校を皮切りに、島尻養護学校、公立小学校、沖縄県立総合教育センター特殊教育課主任指導主事、国立特別支援教育総合研究所発達障害教育情報センター総括研究員、沖縄県教育庁県立学校教育課特別支援教育班主任指導主事等を歴任し、現在沖縄県立島尻特別支援学校校長として特別支援教育に携わっている。



〈主な研究〉

- 発達障害のある子どもへの学校教育における支援の在り方に関する実践的研究
- 特別支援学級における自閉症のある児童生徒の「カリキュラムアセスメント」に基づいた教育課程編成に関する実践的研究 他4題

〈主な著書〉

- はじめての「通級指導教室」通級指導教室運営ガイド 明治図書 2014 (編著)
- 特別支援教育におけるATを活用したコミュニケーション支援 ジアース教育社 (分担執筆) 2010
- 個々のニーズに応じた指導に役立つ教材・教具 明治図書 (分担執筆) 2010 他多数

平成28年8月4日 (木)

受付 13:30~14:00

沖縄県市町村自治会館 (那覇市)

記念講演 14:10~16:10

9. 分科会

分科会	提案者・司会者	提案内容
第1分科会	<p>【提案者】 那覇市立神原小学校 教諭 金城まどか</p> <p>【司会者】 北谷町立北谷第二小学校 教諭 大城ゆかり</p>	<p>小5女児 「ス」音が「シュ」「ヒュ」音に置換 構音器官の未熟さ 呼吸遊びを通して、口腔器官の機能を高め 「ス」音の定着を目指した指導の報告</p>
	<p>【提案者】 霧島市立上小川小学校 教諭 羽生 博文</p> <p>【司会者】 伊佐市立大口小学校 教諭 森園いつみ</p>	<p>小1男児 サ行音とシチジ音に歪みがある 舌の脱力のための工夫 側音化構音の発音の改善に関する評価と指導 のステップの報告</p>

第2分科会	<p>「吃音」 (テーマ) 吃音のある子どもをどうとらえ、 どう支援していくか</p> <p>《助言者・ミニレクチャー》 みやがわ おさむ 宮川 治 先生 沖縄県立 総合精神保健福祉センター所長</p>	<p>熊本県</p> <p>【提案者】 熊本市立熊本五福幼稚園 教諭 門田 延枝</p> <p>【司会者】 熊本市立碩台幼稚園 教諭 今村 佳代</p>	<p>5歳児 連発・難発・伸発の頻度の高い吃音及び言語 発達の緩やかさがある幼児の指導についての 報告</p>
第3分科会	<p>「言語発達」 (テーマ) 言語発達に遅れのある子どもを どうとらえ、どう支援していくか</p> <p>《助言者・ミニレクチャー》 なかはら みなこ 仲原 美奈子 先生 沖縄県立 沖縄ろう学校 教諭</p>	<p>佐賀県</p> <p>【提案者】 武雄市立武雄小学校 教諭 古賀 明美</p> <p>【司会者】 嬉野市立嬉野小学校 教諭 廣田 薫</p>	<p>ICT機器を利用した聞く力に弱さのある子 どもへの指導について 小2男児 やりとりが成立しにくい。聞き取りの弱さや 文章読解の弱さがある (LCSAより) 児童 の指導報告</p>
	<p>「聴覚」 (テーマ) 聴覚に障害のある子どもを どうとらえ、どう支援していくか</p> <p>《助言者・ミニレクチャー》 おおしろ まきこ 大城 麻紀子 先生 沖縄県立 鏡が丘特別支援学校 教頭</p>	<p>長崎県</p> <p>【提案者】 五島市立福江小学校 教諭 市川 令子</p> <p>【司会者】 長崎市立大園小学校 教諭 江原 由美</p>	<p>小4男児 話し言葉がはっきりしない。視覚認知に課題 があり読み書きが苦手 話す力を高める・視覚認知の力を育てる・読 み書きの力を高める指導についての報告</p>
第4分科会	<p>「聴覚」 (テーマ) 聴覚に障害のある子どもを どうとらえ、どう支援していくか</p> <p>《助言者・ミニレクチャー》 おおしろ まきこ 大城 麻紀子 先生 沖縄県立 鏡が丘特別支援学校 教頭</p>	<p>福岡県</p> <p>【提案者】 福岡市立当仁小学校 教諭 土生 恵子 教諭 柳生 志津子 教諭 進藤 直樹</p> <p>【司会者】 福岡市立当仁小学校 教諭 大原 明子</p>	<p>難聴児への支援のあり方と5つの視点に基づ いた実践報告 ①難聴児とその保護者に対する支援 ②在籍校・学級への働きかけ ③市内の通級指導教室・難聴学級との連携 ④本校への働きかけ ⑤関係諸機関との連携</p>
	<p>「連携」 (テーマ) 子どものために、どう連携し 支援していくか</p> <p>《助言者・ミニレクチャー》 おおしろ まきこ 大城 政之 先生 沖縄県立 島尻特別支援学校 校長</p>	<p>宮崎県</p> <p>【提案者】 高千穂町立高千穂小学校 教諭 佐藤 史子</p> <p>【司会者】 宮崎県立しろやま支援学校 教諭 平川 由貴</p>	<p>近隣に難聴の通級指導教室も専門機関もな く、孤立し指導に悩んだ時に支えてくれた延 岡しろやま支援学校との連携指導と補聴器に 抵抗のある児童の思いに寄り添い、自己理解 を深めていった指導の報告。</p>
第5分科会	<p>「構音」 (テーマ) 構音に誤りのある子どもを どうとらえ、どう支援していくか</p> <p>《助言者・ミニレクチャー》 いしだ なおみ 石田 直美 先生 ちばなクリニック (耳鼻咽喉科 言語聴覚士)</p>	<p>大分県</p> <p>【提案者】 日田市立日隈小学校 教諭 吉武 芳彦</p> <p>【司会者】 大分市立金池小学校 教諭 松永 衣子</p>	<p>点から線・面への関わりをめざして ～新たな「連携」への指向～ ◆保護者・在籍学級担任・専門機関との連携 の紹介 ◆教育委員会・兄弟姉妹・修了児との連携の 可能性の模索 ◆上記をつなげていく可能性としてICTの 活用について</p>
	<p>「聴覚」 (テーマ) 聴覚に障害のある子どもを どうとらえ、どう支援していくか</p> <p>《助言者・ミニレクチャー》 いしだ なおみ 石田 直美 先生 ちばなクリニック (耳鼻咽喉科 言語聴覚士)</p>	<p>沖縄県</p> <p>【提案者】 うるま市立伊波中学校 教諭 久貝 元香</p> <p>【司会者】 うるま市立伊波小学校 教諭 上間 勤子</p>	<p>中2・中3難聴生徒 今後の生き方を工夫し幸せな生活を過ごして ほしいと願い取り組んだ実践報告 ◆企業 (製品) と連携した機器体験 ◆聴覚障害者 (大学生・社会人) との交流 ◆近隣校難聴生徒との交流</p>

